

規格

ポイント

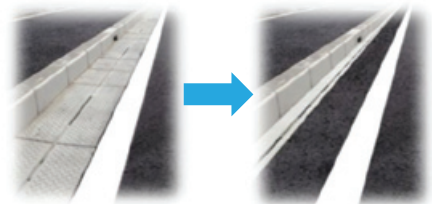
平坦性の確保

側溝天端の露出面が少なく、側溝が隠れる構造により横断勾配の変化がなく走行時の安全性を向上。

自転車走行空間を広く確保

側溝天端露出面は150mmと外側線幅程度なので、施工後は道路路面が広く視認することができる。露出面を150mmから100mmにすることも可能。柵部におけるグレーチングも舗装材を充填する化粧蓋タイプの使用により走行幅の視認性も向上します。

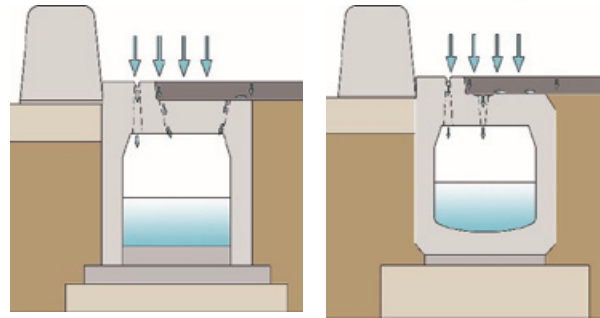
道路を広くスッキリ！



滑りにくい構造

コンクリート露出面を抑えているので歩行者、自転車が滑りによる転倒を低減します。

また、表面水を連続したスリットにより排水し排水性舗装による浸透水を蓋部の排水スリットから排水できる構造により水溜りの発生を解消し水撥ね防止や滑りにくい路面とすることができます。



段差や溝の解消

側溝側面に凹凸がなく転圧がムラなく行えるので土の沈み込みによる段差発生を抑えます。

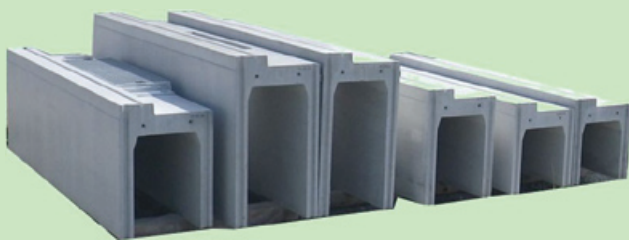
その他にもさまざまな機能性

自由勾配側溝タイプと函渠タイプの外形状及び内空形状が同じなので併用しての設置・施工ができます。

製品 (L=2.0m) の長さ調整 (一側) が可能です。

自由勾配側溝タイプ

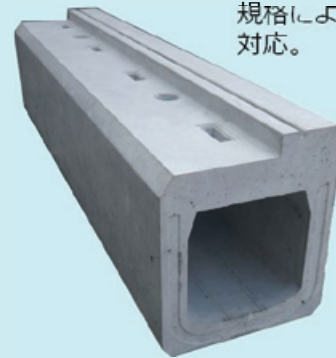
開口からのコンクリート打設によりインバート施工も容易



長さ調整長一側-200mまで

函渠タイプ

標準、柵、横断、巻込み規格により現場に柔軟に対応。



長さ調整長一側-250mまで